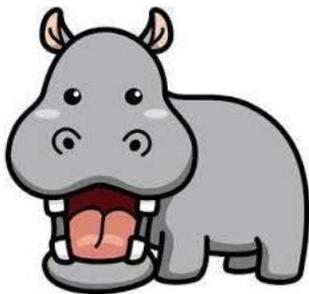




# よくある質問 (小児のフッ素塗布編)



## 患者様からの御質問

フッ素の塗布は何歳ぐらいから始めるのが良いですか？



## 当院からの回答

上下の前歯4本が萌えそろう時期にフッ素の塗布を開始することが理想的です。この時期は平均的には1歳を過ぎた頃となります。

## 患者様からの御質問

フッ化物は何歳ぐらいまで塗布すればいいのでしょうか？



## 当院からの回答

乳歯と萌えた直後の歯は成熟した大人の歯に比べフッ素をよく取り込みます。また、萌えた直後の永久歯は3年程かけてフッ素の取り込み成熟した永久歯の硬さになります。従って最後の大人の歯が萌える12歳の3年後となる15歳までが望ましいと考えられます。

## 患者様からの御質問

今までフッ素塗布は私費診療だと思っていましたが、保険でも塗布できると聞きました。詳しく教えてください。



## 当院からの回答

フッ素の塗布は原則的に私費となります。ただし、ある条件下では0歳から12歳までは保険適応となります。詳しい条件につきましては、医院掲示をご覧くださいか、あるいはスタッフまでお気軽に御声掛けください。

## 患者様からの御質問

フッ素の塗布は安全ですか？



## 当院からの回答

一般的に全ての薬はその用法と用量が適切であれば効果を発揮し、用量が過剰であれば不要な症状(副作用)を生じます。歯科で用いるフッ素については、濃度と使用する量を調整することで、完全に安全な方法で使用しております。ですので、歯科医の指示に従えば安全と言えます。

## 患者様からの御質問

家庭で行うフッ素と歯科医院で行うフッ素は何が違うか教えてください。



## 当院からの回答

家庭で行う事ができるフッ素ケアは最近では色々ありますが、歯科医院で行うフッ素ケアと比較して最も異なる点はフッ素の濃度です。一般的に家庭で行うフッ素ケアの薬品はフッ素濃度が歯科医院より低い濃度に設定されています。

## 患者様からの御質問

初期むし歯はフッ素塗布することで治りますか？



## 当院からの回答

ずばり、初期むし歯はフッ素塗布することで治ることもあります。しかし、全ての症例でそれが起こるとは言い切れません。毎日の歯磨きや食生活も関係しています。フッ素塗布することで安心せず、しっかり歯磨きをすることが大切です。

## 患者様からの御質問

家庭で行うフッ素のケアをしていますが、それと歯科医院でのフッ素塗布をどちらも行っても大丈夫ですか？



## 当院からの回答

歯科医院と家庭で行うフッ素の濃度は全く異なります。ですので、毎日の家庭でのケアと3ヶ月に1度の歯科医院でのケアは平行して行うことができます。

## 患者様からの御質問

歯のフッ素の取り込みは乳歯と永久歯では違うと聞いたことがあります。具体的に教えてください。



## 当院からの回答

成人の永久歯は歯として完成されているのでフッ素の取り込みが比較的少ないと言えます。それに比べ乳歯や萌えた直後の永久歯は歯が疎なぶんだけフッ素をよく取り込むことができます。この理由から乳歯や萌えたての永久歯にはフッ素塗布が効果的であると言えます。

## 患者様からの御質問

フッ素を塗った後に30分  
飲食できないのは何故で  
すか？



## 当院からの回答

歯科医院で塗るフッ素は  
高濃度です。この高濃度  
のフッ素をできるだけ歯に  
しみ込ませる時間が30分  
とされています。歯科医  
院でフッ素塗布をした後は  
うがいも含めて30分は何  
もお口に含まないようにし  
てください。

## 患者様からの御質問

定期的にフッ素を塗って  
いれば、むし歯にはなりま  
せんか？



## 当院からの回答

フッ素塗布はあくまでむし歯  
予防の補助的な戦略であり、  
本質的には毎日の歯ブラシ  
が重要となります。フッ素を  
塗って歯磨きを怠ればむし  
歯になります。ですので、や  
はり毎日しっかり歯を磨きま  
しょう。

## 患者様からの御質問

スプレー式の家庭用フッ素について教えてください。



## 当院からの回答

フッ素の濃度は歯科医院で使用する1/100程度で、スプレー式なのでうがいの必要もなく、家庭で簡易的に使用できます。通常の歯磨きの後に用法用量を守り御使用ください。

## 患者様からの御質問

以前通っていた歯医者さんでむし歯にフッ素を塗って数年間も経過観察していたら、むし歯が大きくなりました。フッ素はむし歯を治す力はあるのでしょうか？



## 当院からの回答

フッ素が再石灰化できるのは「初期脱灰」と言われる穴のあいていない初期むし歯のみです。歯に穴が開いている状態に、いくらフッ素を塗布しても「穴」そのものは決して治癒しません。「穴」を伴うむし歯になったら、削って詰めるなど何かしらの治療は必要になります。